

学校だより

# 蓮沼中学校

令和7年度 第8号  
令和7年12月19日発行  
大田区立蓮沼中学校  
校長 張替 健二

## ～地域ボランティアについて～



11月30日(日)、地域防災活動拠点訓練が行われました。

地域の方々、先生方、生徒有志が協力して、有事のための訓練を行いました。防災備蓄倉庫(本校はPTA室の中にあります)から必要な物品を運び出し、車いすや特設公衆電話体験、段ボールベッドや簡易トイレの組み立て、応急給水栓と校庭の仮設トイレの確認等を行いました。私は、大森高校側の体育館脇(正門横)に、応急給水栓が設置できることを今回初めて知りました。応急給水栓とは、非常時に専用の器具を設置し、飲料水として使うことができる施設です。試薬で安全を確かめた後、町会の方が実際に飲んでみせてくださり、その場にいた全員がその設備に感心していました。

全体として生徒たちは大変熱心に関心をもって参加していて、地域の方々からも「とても頼もしいです」「ありがとうございます」とのお声をいただきました。災害が起きないことを祈るばかりですが、東京は今後30年のうちに70%の確率で首都直下地震が発生するだろう、との予測があります。非常時は中学生の皆さんのような若い力が必要です。今後も訓練はありますので、「もし災害が起きたら!？」と常日頃から想像力を働かせて、危機感をもって訓練に参加してほしいと思います。今回手を上げて実際に参加してくれた生徒の皆さん、ありがとうございました。いざという時に今回の訓練を生かして精一杯活動できるといいですね。

校内では、生徒会主催で12月3日(水)・4日(木)・5日(金)はあいさつボランティア、12日(金)は落ち葉掃きボランティアを行いました。朝のあいさつボランティアでは、たくさんのあいさつが大きな声で行き交っていました。落ち葉掃きボランティアは、落ち葉一つ落ちていない美しい蓮沼中ができてあがりました。多くの生徒が生き生きと自主的に参加していて、とても清々しい気持ちで一日を始めることができました。

ボランティアとは、「自発的な意志に基づいて、無償で他人や社会に貢献する活動、またそれをする人」を指します。ラテン語の「自由意志・Voluntas」が語源で、「喜びの精神」「自主的に申し出る」という意味合いだそうです。特別なことではなく、人として当たり前の親切心や助け合いの気持ちを行動に移すことで、幅広い分野でよりよい社会を目指す活動です。ボランティアは、単なる「奉仕活動」ではなく、「誰もが人間らしく豊かに暮らせる社会」を目指し、一人一人が「こうしたい」「助けたい」という素直な気持ちを行動に移し、関わる人みんなが豊かになれる活動です。今、3年生で行っている面接練習の中でも、ボランティアの経験を生き生きと語る生徒は、実績に裏打ちされた確かな信頼感があります。

これから大人になっていく生徒の皆さんは、もっともっとよりよい社会を構成していく、という重要な役割があります。その役割を果たすべく、これからもボランティア精神を大切に大きく成長していきましょう。

保護者のみなさま、令和7年も残りわずかとなりました。本校へのたゆまぬご支援ご協力を、誠にありがとうございました。令和8年度も、皆さまにとって素晴らしい1年となりますよう、心から祈念いたします。来年もよろしく願いいたします。

副校長 久住直子